

倉持仁院長「コロナは人災ではなく感染症」とのツイートに賛否両論「コロナは感染症、コロナ禍は人災」

6/6(火) 中日スポーツ

新型コロナウイルス患者の診療に取り組み、メディアで医療現場の声を発信してきた宇都宮市インターパーク倉持呼吸器内科の倉持仁院長が5日から6日にかけてツイッターを連続更新。「コロナは人災ではなくウイルス感染症」と強調したツイートにコメント欄ではさまざまな声が飛びかった。

5日夜に「なんか子供たちの間でも広がり始めたみたいです」とつぶやいた倉持院長は、6日未明に「コロナは人災なんかではありません。ウイルス感染症です。人のせいにしてあることないこと、デマを広げるのは良くないことだと思います」と私見をつぶった。

5月に感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、それまでのような全数把握は終了している。しかし、6日には福岡市内の高校で体育祭後の大規模なクラスター発生が報じられた。また、一部メディアで継続的に報道されているコロナワクチンの副反応問題で苦しむ人も依然として多い。

フォロワーからは「コロナは感染症です。コロナ対策が人災です」「コロナはウイルス感染症ですが、今までの過剰な対策で迷惑を被った人達から見れば人災といえますね」「コロナの評価を誤ったところは人災」「コロナではなく『コロナ対策禍』」「コロナは政治」など、3年以上にわたり第8波まで流行が長引き、多くの人々に影響を与えたコロナ禍への不信感がにじみ出る声が相次いだ。

新型インフルエンザ等感染症（2類相当）と5類感染症の主な違い

新型インフルエンザ等感染症

発生動向

- ・ 法律に基づく届出等から、患者数や死亡者数の総数を毎日把握・公表
- ・ 医療提供の状況は自治体報告で把握

医療体制

- ・ 入院措置等、行政の強い関与
- ・ 限られた医療機関による特別な対応

患者対応

- ・ 法律に基づく行政による患者の入院措置・勧告や外出自粛（自宅待機）要請
- ・ 入院・外来医療費の自己負担分を公費支援

感染対策

- ・ 法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み
- ・ 基本的対処方針や業種別ガイドラインによる感染対策

ワクチン

- ・ 予防接種法に基づき、特例臨時接種として自己負担なく接種

5類感染症

- ・ 定点医療機関からの報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表
- ・ 様々な手法を組み合わせた重層的なサーベイランス（抗体保有率調査、下水サーベイランス研究等）

- ・ 幅広い医療機関による自律的な通常の対応
- ・ 新たな医療機関に参画を促す

- ・ 政府として一律に外出自粛要請はせず
- ・ 医療費の1割～3割を自己負担
入院医療費や治療薬の費用を期限を区切り軽減

- ・ 国民の皆様の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねる
- ・ 基本的対処方針等は廃止。行政は個人や事業者の判断に資する情報提供を実施

- ・ 令和5年度においても、引き続き、自己負担なく接種

○高齢者など重症化リスクが高い方等：年2回（5月～、9月～）
○5歳以上のすべての方：年1回（9月～）